

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

あおいは、学校のかえり道にある公園がすきです。

ある日、ブランコのそばで小さなねこを見つけました。

ねこはくさむらにすわり、まわりをきよるきよる見ていました。

あおいは、そっと近づいてようすを見ました。

ねこの体は少しよこれていました。

ねこはにげずに、あおいのほうを見ました。

少しこわそうでしたが、目はやさしく見えました。

あおいは、ランドセルをおろして、しばらくまちました。

風がふいて、木のはがゆれました。

すると、ねこは少しずつちかづいてきました。

つぎの日も、そのつぎの日も、あおいは公園にやりました。

ねこはいつも同じばしょにいました。

えさをもっていなくても、そばにすわりました。

三日目、ねこはあおいの足もとにすわりました。

あおいはうれしくなり、声を出さずにほほえみ、むねがあなたかくなりました。

ところがつながったような気がしました。

それからあおいは、あわてず、ゆっくりまつことの大切さをしりました。



(1) おはなしのながれにあわせて、() にことばをいれましょう。

「あおいは、学校のかえり道にある

() によく行きました。」

(2) あおいが、ねこにすぐさわらなかつたのはどんなりゆうからですか。

① ねこがこわそうだったから

② えさをわすれたから

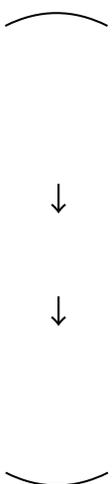
③ 先生にいわれたから

(3) つぎのできごとを、話のじゅんばんにならべましょう。

① 何日も公園によつた

② 小さなねこを見つけた

③ ねこが足もとにすわつた



(4) つぎの文は、話の内容と合っていますか。合っていれば○、ちがっていれば×を書きまじょう。

() () あおいは、ねこにえさをもって行った。

() () このお話は、ゆっくりまつことの大切さをつたえている。

1 つぎの お話を よんで もんだいに こたえましょう。

あおいは、学校のかえり道にある公園が大好きです。

ある日、ブランコのそばで小さなねこを見つけました。

ねこはくさむらにすわり、まわりをきよるきよる見ていました。

あおいは、そっと近づいてようすを見ました。

ねこの体は少しよこれていました。

ねこはにげずに、あおいのほうを見ました。

少しこわそうでしたが、目はやさしく見えました。

あおいは、ランドセルをおろして、しばらくまちました。

風がふいて、木のはがゆれました。

すると、ねこは少しずつちかづいてきました。

つぎの日も、そのつぎの日も、あおいは公園にやりました。

ねこはいつも同じばしょにいました。

えさをもっていなくても、そばにすわりました。

三日目、ねこはあおいの足もとにすわりました。

あおいはうれしくなり、声を出さずにほほえみ、むねがあたりかくなりました。

ところがつながったような気がしました。

それからあおいは、あわてず、ゆっくりまつことの大切さを学びました。



(1) おはなしのながれにあわせて、() にことばをいれましょう。

「あおいは、学校のかえり道にある()によく行きました。」

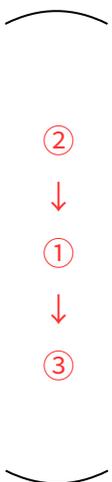
公園

(2) あおいが、ねこにすぐさわらなかつたのはどんなりゆうからですか。

- ① ねこがこわそうだったから
- ② えさをわすれたから
- ③ 先生にいわれたから

(3) つぎのできごとを、話のじゅんばんにならべましょう。

- ① 何日も公園によつた
- ② 小さなねこを見つけた
- ③ ねこが足もとにすわつた



(4) つぎの文は、話の内容と合っていますか。合っていれば○、ちがっていれば×を書きましよう。

() × () あおいは、ねこにえさをもって行った。

() ○ () このお話は、ゆっくりまつことの大切さをつたえている。